

令和2年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	与野本町デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地　さいたま市中央区本町東4丁目7番20号</p> <p>②施設の設置目的 老人福祉法及び身体障害者福祉法に規定する基本理念に基づき、デイサービスセンターの利用者の健康で安らかな生活の維持向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設</p> <p>③施設の概要 開設年月　平成5年11月 延床面積　1,512.69㎡ 構造　鉄筋コンクリート造　地上3階建</p> <p>④事業内容(定員30人) ・老人デイサービス事業 ・障害者デイサービス事業 ・生きがい活動支援通所事業</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人　シナプス
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和2年度　11,300千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 6949人(前年度7224人) ・稼働率76.42%(前年度78.18%)　一日平均利用者数23人(前年度23人) 送迎 6636人(前年度6859人)・入浴3587人(前年度4172人) ◇業務実施状況 介護保険法による指定(介護予防)通所介護事業及び障害者総合支援法による生活介護(基準該当)事業を実施。2月には、ご利用者のなかで一人、新型コロナウイルス感染症の陽性者が出、法人からの指導もあり2月6日から13日まで自主休業という対応をさせていただいた。6日から8日にかけて職員全員にPCR検査を実施し、職員全員陰性と分かり施設内の消毒や環境整備に取り組み2月15日から営業再開とする。その後の営業についてはクラスター発生はなく感染予防に努めながら問題なく通常営業を実施。利用者の稼働率についてはコロナ禍の影響があり年間7000人の利用者数には届くことはできなかった。</p> <p>②維持管理業務の状況 機械浴槽とエレベーターの経年劣化が課題となっているが、今年度通常のメンテナンスで何とか支障なくサービス提供ができた。コロナウイルス感染症対策として、食堂等複数の人がいる場所では、常時窓を開けて対応しているため、空調の稼働時間や温度設定の関係で、電気代の使用料が増加してしまった。</p>

(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入67,754千円（前年度70,779千円） ・指定管理料11,300千円（前年度10,900千円） ・その他79千円（前年度503千円） ②支出 ・人件費60,388千円（前年度61,000千円） ・事務費2,625千円（前年度1,849千円） ・施設管理費7,251千円（前年度8,319千円） ・事業費8,715千円（前年度10,120千円）
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	①食事のメニューや送迎時間への希望は、可能な限り対応した。 ②好きな活動を決めていただく選択レクリエーションの機会をふやしたがコロナ禍の影響があり思うような活動は出来なかったが、ご利用者からは好評を得た。
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

（指定管理者から提案のあった項目の達成状況）

提案内容	達成状況
地域に開かれた施設	コロナウィルス感染症対策として、本年はボランティア、実習生の受け入れをすべてお断りすることとなった。事業所への立ち入りは極力少なくしたが、ケアマネジャーをはじめとするご利用者の関係者の方々へは、電話や手紙等の方法で定期的に連絡をとるように努めた。

3. 評価

(1)指定管理者による評価

<p>昨年、利用者数も増え手ごたえを得ていたところでコロナウィルス感染症の影響を受け、思うように利用者数を伸ばすことができなかった。2月の臨時休業の影響で、目標としていた年間7000人の利用を達成することかできなかった。年度を通じてこのように感染症による制限が続くとは、年度当初想定もしておらず、試行錯誤が続いた一年だった。臨時休業という非常事態を招いたが、その中で危機管理の大切さを痛感した。職員間での情報共有の難しさと大切さを学べたので、この経験を次年度に活かしたい。</p> <p>提供するレクリエーションのプログラムも殆どお一人で黙々と実施していただくものが中心となった。これまで大切にしてきた「和気あいあい」とした雰囲気失われてしまったように感じられ、葛藤を抱えながらサービスを提供してきた。</p> <p>法人の認知症初期集中支援チームからの紹介ケースを何件か受け、いわゆる困難事例といわれる認知症の一人暮らしの方の支援を積極的に行ってきた。その中で、今年度は中央区の高齢介護課の方々との連携が強化されたと感じた。地域で孤立しがちな方と関係をつくりサービス利用に繋げてきた実績は、この一年の大きな収穫であったと思う。また、今後も積極的にこのようなケースに関わり、指定管理を受けているデイサービスならではの支援を提供していきたい。</p> <p>障害福祉サービス事業者としての認知も浸透してきたのか、中央区以外からの照会も増えてきている。送迎の問題があり、直ちにサービス利用には繋がってはいないものの、障害者が安心して入浴サービスを受けられる施設として評価もいただいており、今後も地域の障害者の福祉ニーズに答えられるように、関係各所との連携を強化していきたい。</p>

(2)さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A～D

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取組】

困難事例といわれる認知症の一人暮らしの方の支援を積極的に行ってきた点評価した。

【経費の削減に関する取組】

予算額と決算額との乖離が僅かであることから、概ね適切であると評価した。

【適正な管理運営の確保に対する取組】

備品や設備等の適切な管理を行っている点を評価した。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。